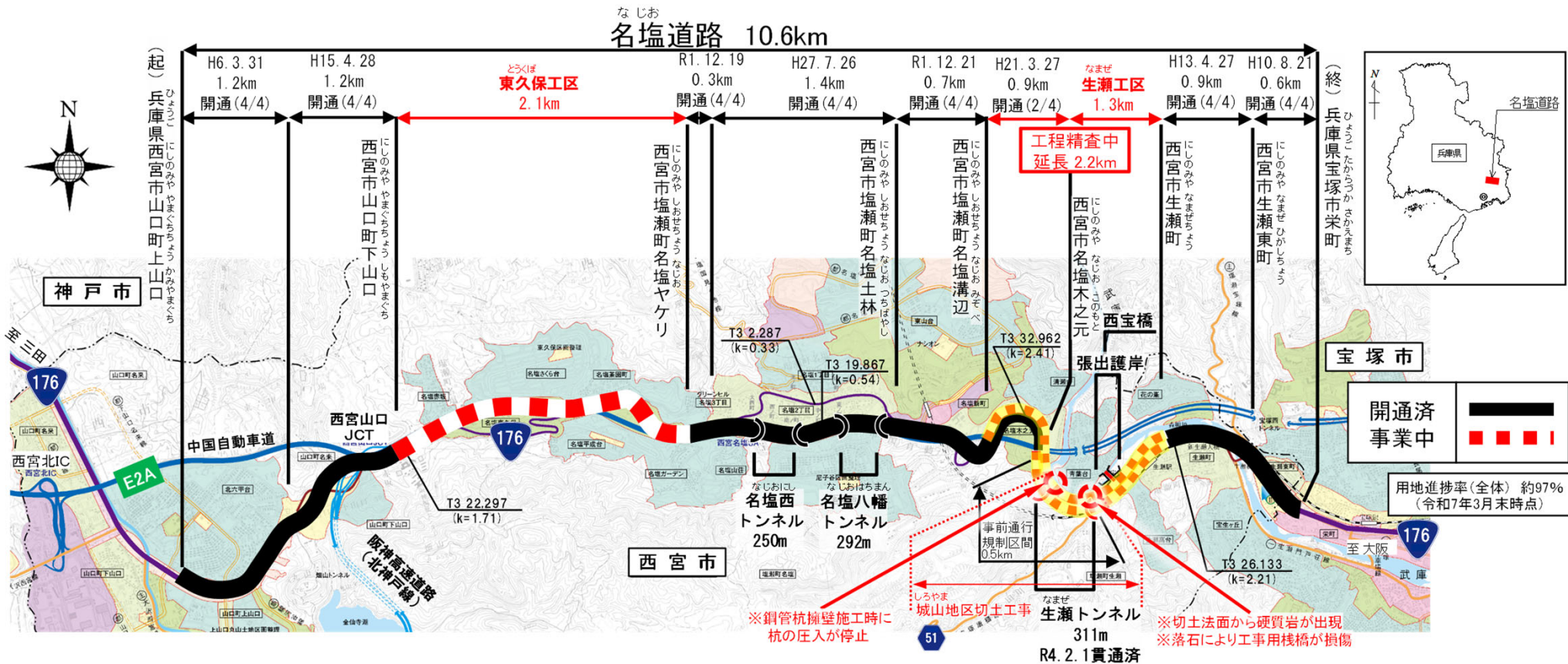


一般国道176号名塩道路 生瀬工区の工事状況について

- 一般国道176号名塩道路(延長10.6km)の城山地区で、鋼管杭擁壁施工時に、鋼管杭が地盤に圧入できない事態が発生。
- 追加調査等の結果、杭と地盤との摩擦を減らすための水が逸水し、圧入ができなくなっていることを確認。
- この事象を受けて、令和8年3月27日に有識者検討会を実施し、当該箇所は特殊な砂礫層地盤であり、薬液注入による追加対策後、周辺地盤等のモニタリングをしつつ、慎重に施工する必要があるとの意見を頂戴した。
- 有識者の意見を踏まえながら、引き続き、鋼管杭擁壁の施工を推進中。



○ 全線にわたって改良工事、橋梁工事を推進中



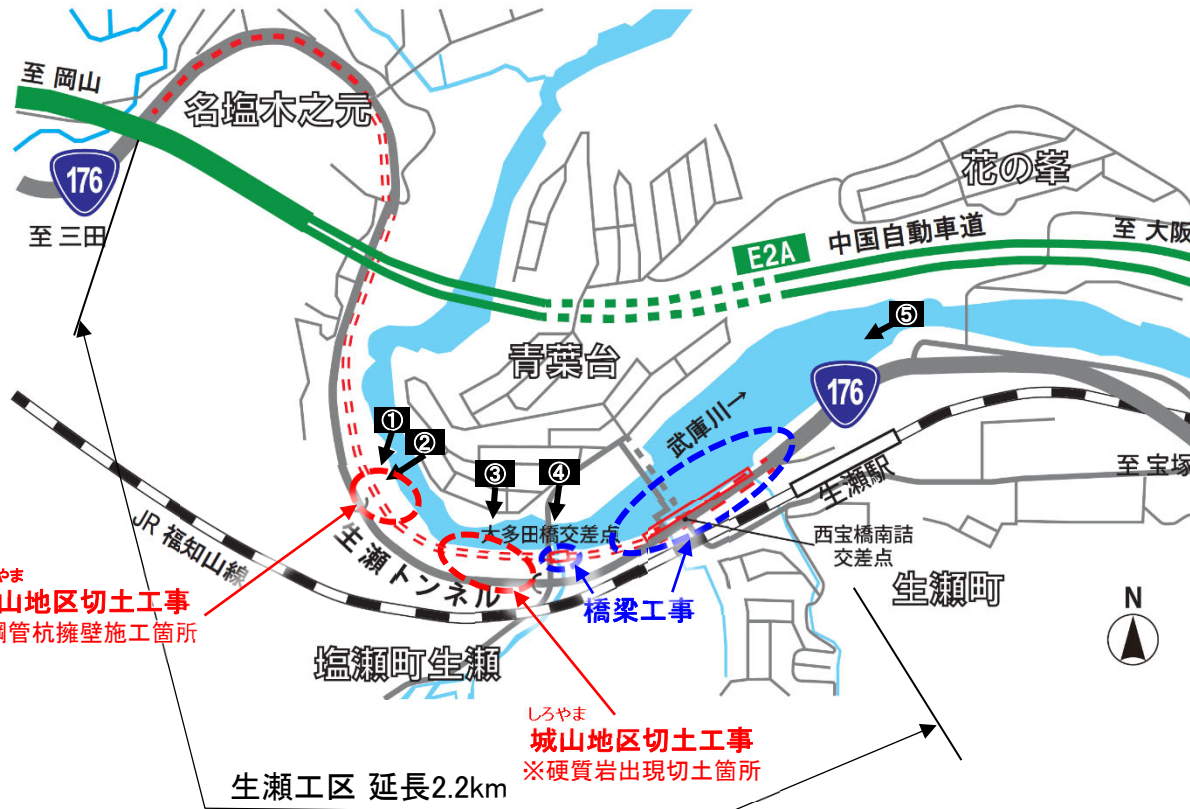
R8.3 撮影



R8.3 撮影



R8.3 撮影



R8.3 撮影

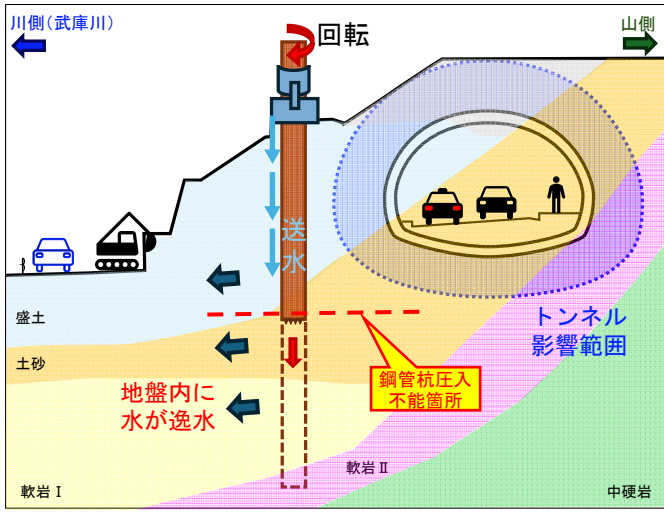


R8.3 撮影

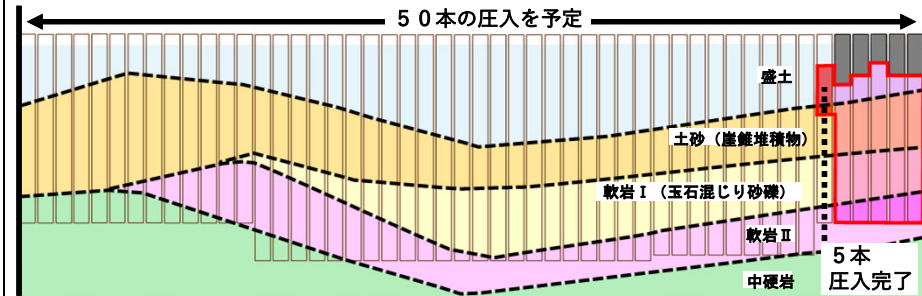
工事進捗に伴う課題 <城山地区切土工事 鋼管杭回転圧入工>

- 鋼管杭と地盤との摩擦を減らすために送水した水が地盤内に逸水し、摩擦が大きくなったことで杭の圧入が停止した。
- 杭の圧入に1本当たり11.0日(計画時:2.2日)かかり、6本目で完全に停止。

■ 鋼管杭圧入箇所状況 (模式図・上空写真)



■ 鋼管杭圧入の進捗状況



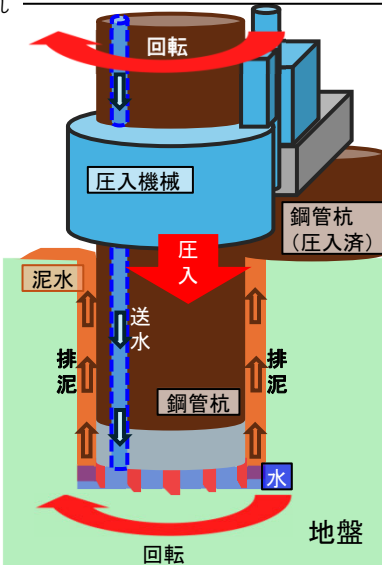
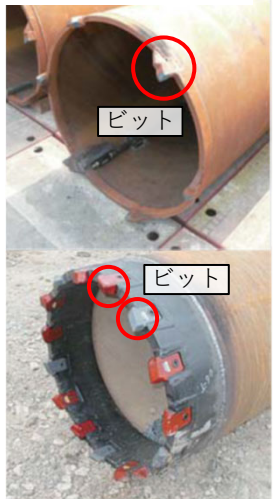
凡例

- : 圧入が停止した箇所
- : 圧入完了箇所 (逸水により遅延)
- : 圧入完了箇所
- : 圧入予定箇所 (未施工)

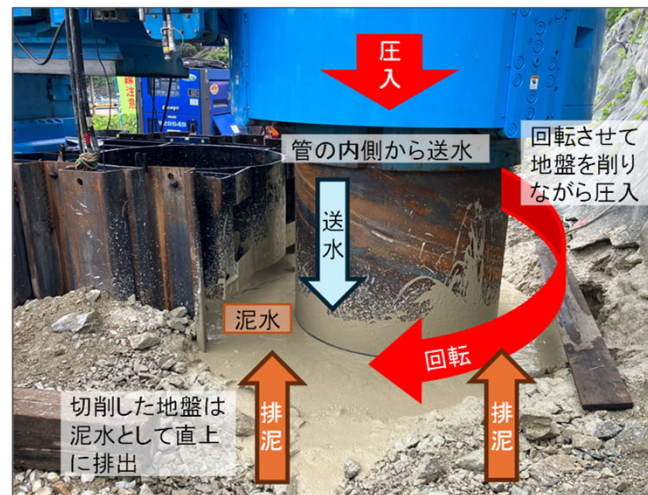
- ・ 圧入完了本数: **5本** / 50本 (令和8年3月1日時点)
- ・ 1本当たりの施工日数: 53日 / 5本 = **約11.0日**
- ※ 当初計画の施工日数: **2.2日/本**

■ 鋼管杭圧入工法の流れ

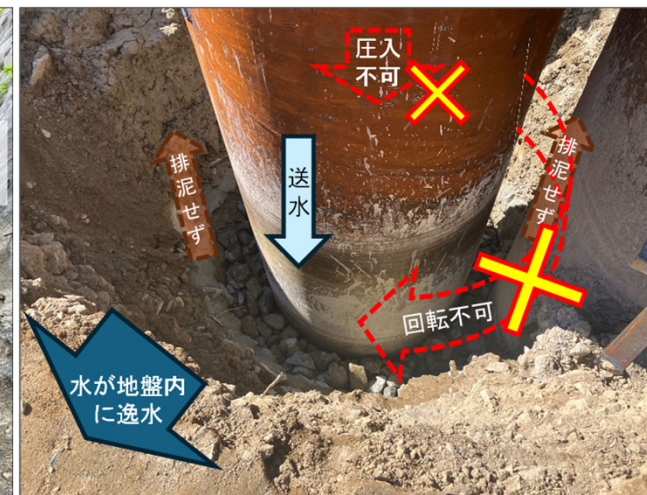
杭先端のビットの例



■ 鋼管杭圧入現場の状況



回転圧入時の様子 (正常な状況)



圧入停止時の様子 (異常発生時)

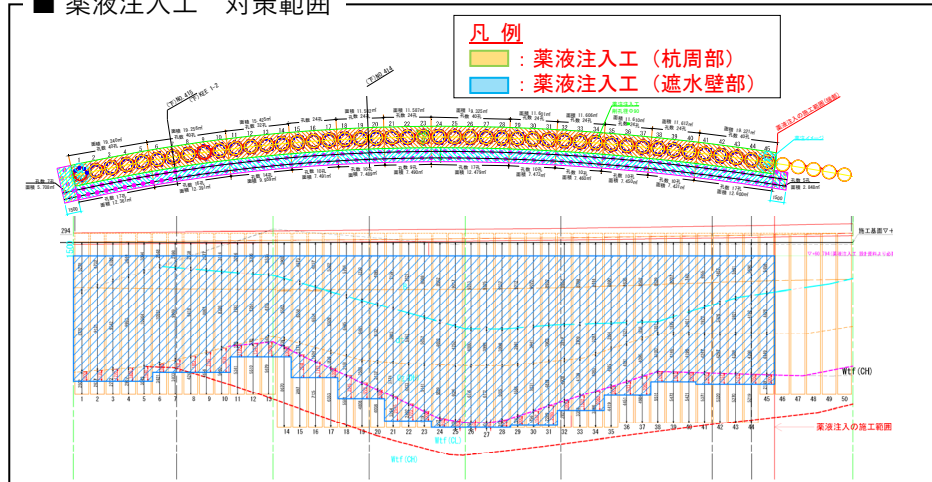
【有識者検討会での主な意見】

○ 当該箇所は特殊な砂礫層地盤であり、薬液注入による追加対策後、周辺地盤等のモニタリングをしつつ、慎重に施工する必要がある。

【現在の対応状況】

○ 薬液注入からモニタリングを行い、注入が完了した場所から順次鋼管杭の圧入を再開。現時点では圧入及び周辺地盤等に異常なし。

■ 薬液注入力 対策範囲



■ 鋼管杭回転圧入力 施工状況全景



■ 薬液注入前～ 鋼管杭回転圧入力の状況



薬液注入前



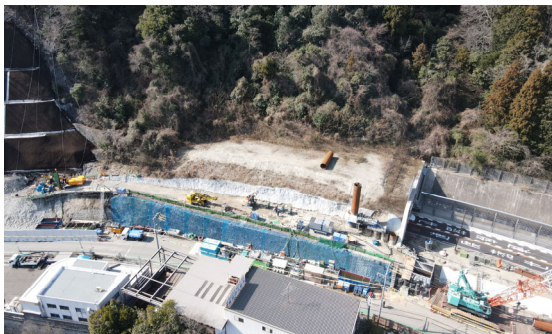
薬液注入工施工状況



薬液注入後

【参考】名塩道路 城山地区切土工事の進捗状況(令和8年3月)

○ 硬質岩が出現した切土法面①は全7段中7～4段目完了し、3段目を施工中。



写真② 鋼管杭擁壁 施工中



写真① 切土工・自然斜面補強工施工中



名塩道路城山地区切土工事 全景

